



垂水消防団東高丸分団
分団長 松本 正廣 さん

気配りの分団長

〔執筆考〕垂水消防団東高丸分団

古白川 正蔵

垂水消防団の東高丸分団は、総員16名の分団です。管轄は、西は福田川から東は塩屋まで、南は山陽電鉄滝の茶屋駅から北はジエームス山までの範囲で、住宅街を中心に商業施設もある旧市街地です。

活動としては、月2回の定期訓練・点検、地域の防災福祉コミュニティの防災訓練参加などを日常的に行っています。また、消防活動以外にも、青年会が中心に行う秋祭りやもちつき大会などの地元行事もお手伝い

し、地域構成団体としての役割も担っています。

団員の多くが会社員であるとともに、休日出勤の者も多いため、活動の負担が特定の団員に偏ることも間々あるのですが、お互い和気あいあいとした雰囲気です。ただ、ここ数年で若干の団員の入れ替えはあるものの、全体として高齢化しているのが悩みです。

この分団で率先して活動に取り組み、強い責任感で団員を引っ張っているのが、昨年還暦を迎えた松本正廣分団長です。入団以来31年間、黙々と活動に励み、5年間部長を務めた後、昨年4月から分団長として活動されています。公私とも忙しい中、「カメラ」「釣り」「カラオケ」など、多趣味で知られていますが、分団長へ就任して以来、趣味を楽しむ時間も無くなったようです。



昨年の第9回神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会に、垂水消防団を代表して東高丸分団が出場することに

決まり、訓練を始めたときには、失礼ながら還暦のお歳を忘れて「選手」として全力疾走する姿を見せ、団員の士気を高めました。さすがに選手として大会に参加することは叶いませんでしたが、選手の心を一つにまとめ、「気配りの分団長」として訓練をやり遂げられました。結果、消防署や垂水消防団の支援もあり、大きなミスも無く、9位入賞を果たすことができました。選手の平均年齢が47歳という条件を考えると、全員が満足できる結果だと感じています。

今後も松本分団長を中心に、それぞれの経験を他の団員へ伝えつつ、地域に信頼される分団を目指して団員一同頑張っていくつもりです。